

共同の力で地域医療を守ろう！

「公立公的病院再編ストップ！広島県共同行動連絡会」発足

19日、「公的公立病院再編ストップ！広島県共同行動連絡会」発足総会が開かれました。当初は学習会も兼ねて、広く呼び掛けて開催する予定でしたが、コロナ感染予防から参加者を絞って開催。19団体28名の参加でした。会はず、県労連の神部泰議長が「地域医療を守る運動をみなさんと広げよう」とあいさつ。続いて、県社保協の藤本事務局長が昨年9月、入院ベッドを削減し、患者を入院から在宅へ誘導し、医療費の抑制をはかる、その突破口として突然発表され424の公的公立病院(その後440病院に)の縮小再編のねらいを報告。「地方自治や主権を軽んじる暴挙」と批判しました。当県連からは佐々木会長が23市町にお願いした国保と地域医療構想に関するアンケート結果の特徴を報告。今回の縮小再編については「地域の実情や住民の声を聞くことなく自治体の意向を飛び越えて国が強権的に進めようとしている」と、多くの自治体に混乱を生んでいる実態を告発しました。会は佐々木会長を会の代表として選出するとともに、再編ストップの請願署名を共同ですすめるほか、再編に名指しされた当該病院への訪問懇談などの計画が提案されました。具体的活動の皮切りとして、3月下旬からはじめる国保と地域医療構想で、昨秋に続く自治体再訪問を力を合わせ成功させようとの呼びがありました。自治体を含めて地域医療を守る声を結集する共闘組織が広島県でスタートしました。

公的医療機関再編ストップ！ 広島県共同行動
(424共同広島) 結成総会

2020年3月19日 広



高齢者交通費助成利用事業を敬老パスに 拡充する請願不採択 ～広島市議会～

広島県高齢期運動連絡会から広島市議会に提出していた高齢者交通助成廃止反対の陳情と敬老パス請願が、19日の臨時厚生委員会で突如採決が行われ、不採択が決議されました。続く20日の本会議で不採択の賛否が採決することになるという情報が寄せられたことから、急ぎよ、傍聴を呼びけ、40人以上が抗議の意思を表すため、傍聴、傍聴席はほぼ満席になりました。そうした中、陳情および請願について日本共産党の吉瀬議員が採択賛成の討論を行った後、採決。56名の参加の中、日本共産党と市政ネットワークの13名が賛成に起立しましたが、残念ながら、請願は否決されました。

